



JR東労組の再生に向けた12地本の団結を妨害・破壊する 「真実の声」を許さない千葉地方本部見解を発売!

JR東労組の再生に向けた12地本の団結を妨害・破壊する 「真実の声」を許さない千葉地方本部見解

2018年6月10日、JR総連・JR東労組の定期大会で組織破壊と確認された「JR東労組を憂う会」を擁護し、結成主旨の抜粋を掲載した「真実の声」なるホームページが突如立ち上げられた。

この「真実の声」は、投稿者が匿名であることをいいことに数々の嘘を並べ、中央本部を「残留執行部」と罵り、JR東労組の再生に向けたたたかいを推し進める中央本部や地方本部に対して嘘で塗り固めた批判を繰り返している。組織を強化・拡大するために12地本が団結して信頼を回復しようとする私たちのたたかいを妨害、破壊する以外の何物でもない。更に言えば、個人を特定しての誹謗中傷はもはや犯罪行為である。

「真実の声」で11月4日に更新された内容では、「3月9日にC本選出の本部大会代議員の名前でY中央執行委員長宛に①臨時大会の開催②Y中央執行委員長の辞任③労使協同宣言の再締結、の要請書が本部に提出してたそうじゃないか」（原文ママ）と掲載されているが、3月9日に提出した要請書は、第35回臨時大会の開催要求であり、3点の要請を行ったものではない。またY中央執行委員長の辞任にも触れているが、千葉地本として「現中央本部体制で立て直しができない場合は、臨時大会を要請する」ということが要請内容であり、事実とは全く違うのである。このように「真実の声」は、組織内部でしか知り得ない情報を元に一部を切り取り、捏造してストーリーを創り出している。組合員からも「組織に関わっている人が立ち上げたホームページだ」「どうみても直接やり取りした人が投稿しているとは思えない」「事実を捻じ曲げて真実を語らないのはこのホームページだ」という声が寄せられている。「真実の声」こそが、嘘と誤魔化しで組織に混乱をもたらす組織破壊である。よって、この「真実の声」の投稿者並びに投稿者に情報を提供する行為は、規約第60条（制裁）に該当し、制裁申請に値するものである。

これまでJR東労組は、常に組織破壊攻撃によって組織の破壊と再建を繰り返してきた。16年前、嶋田一味によって破壊され、数年かけて組織を立て直してきた千葉地本として、中央本部及び各地方本部の団結を、「真実の声」を通じて混乱と破壊しようと目論む者たちを断じて許すことはできない。

千葉地本執行委員会は、職場と組織に混乱を招いている現実に踏まえ、「JR東労組を憂う会」と同様に、この「真実の声」を組織破壊と断定し、あらゆる組織破壊を許さず、全組合員と共に12地本の団結をもってJR東労組の再生を実現する決意である。

2018年11月6日
東日本旅客鉄道労働組合
千葉地方本部第6回執行委員会

組合員を混乱させる「真実の声」のHPは、組織破壊と断定!
ウソ・ゴマカシを許さず、組合員のためのJR東労組を創ろう!